

## 今日から第二学期、有言実行で「実りある二学期に」

○男子ハンドボール部の初の全国制覇（全国高校総体）を筆頭に、本校生にとって充実した夏休みだったと思います。そして今日から、第二学期がスタートします。2年生は、13日（火）～15日（木）の3日間、地域でのインターンシップ、3年生はいよいよ就職試験が16日（金）から始まります。前半・後半の課外も頑張っていたようですので、きっとその成果が現れるものと信じています。1年生は、そういった先輩たちの姿を見ながら、秀峰生としての在るべき姿をここで点検して欲しいと思います。二学期は、体育大会、文化祭（鈴懸祭）といった、生徒が楽しみにしている学校行事があります。生徒たちが一生懸命取り組むことで、人間力をアップできる機会です。また、秀峰の素晴らしさをアピールできるときでもあります。先生方は授業研究に力を入れる期間も設定されています。生徒も教職員も、それぞれが、また、一緒になって、充実した日々を送り、実りある二学期にしていきたいものです。そのために、何を行なうか、「有言実行」を実践してみてもいいでしょうか。

## 工業高校PTA役員と学校との教育懇談会が開催されました。・・・20日（土）

○宮崎市のホテル スカイトワーにて、県内の7校から41名（PTA23名、校長・教頭・事務長18名）が出席して行なわれました。学校の現況説明では、生徒たちの健全育成や進路目標達成のために、いかに各学校が頑張っているかがよく分かりました。得られた情報については、本校の教育活動のさらなる充実のために参考にしていきたいと思います。

### ＜今後検討していきたい各校の主な取り組みについて＞

- ・基礎学力向上や資格取得、進学指導のための放課後の時間等の活用。 ・朝の「黙想の時間」 ・地域の人材や卒業生の活用（講話、勉強会）
- ・HPやPTA新聞等を活用した情報発信の在り方（生徒へ配付したプリントは、HPにも掲載）
- ・地域への貢献の在り方 ・PTA朝の立ち番指導 ・PTA奉仕作業



齊藤教頭が学校の現況を説明

## 高校生も参加して、「えびの市異業種交流会」が開催されました。・・・22日（月）午後

○この交流会は昨年度まで、企業と学校及びえびの市役所の関係者によるものでした。それを本年度からは、将来、地域の活性化に役立つ人材となつてほしい高校生も参加するという形で実施されました。本年度は、本校12名（工商）、高原高校8名（農）、飯野高校3名（生情）の合計23名が参加し、4つの研究発表を行ない、企業2社の説明の後、企業の方との意見交換会を行ないました。地元の高校生が日頃どんな勉強をし、頑張っているか、そして、社会人になるためにどのように育っているのかを知ってもらいたい機会になったと思います。この企画を今後も充実させ継続させていきたいものです。企業の方から、次のことについて、高校生に対して要望等がありました。

- ・自己管理ができる ・できるだけ資格を取得する ・組織人となれるための基礎を身に付ける
- ・自信の持てる仕事を見つける ・責任と自覚・コミュニケーション・忍耐力（部活動等で培う）

高校生からは、「面接で大切なことは」「なぜ、地元で企業したのか」などの質問がありました。



工業「植物工場」発表



商業「農工商連携」発表



意見交換会で本校生も質問

## 第10回九州地区高等学校生徒商業研究発表大会が宮崎市で開催されました。・・・26日(金)

○宮崎市民文化ホールで開かれた大会には、九州各県の代表校9校（開催県の宮崎県からは富島高校と宮崎商業高校の2校）が出場し、各校が日頃の研究の成果を発表しました。商業を通して学んだことを活用して、行政や企業と連携し、地域社会の活性化を目指していこうとする発表が多かったです。

・本校からは2年生5名が参観しましたが、宮崎商業高校は1・2年生約600名が参観しました。今後は、このような大会をできるだけ多くの生徒に参観させて、商業高校生としての意欲につなげられるようにしていけたらと思います。（農工福の生徒もこのような大会にはできるだけ参加させたい。）

・どの学校の研究も単年度の研究ではなく、継続的な研究を毎年、充実させてきているものでした。また、商業クラブや情報クラブで、学年を越えての研究もあり、本校の今後の研究の在り方について、ヒントを与えてくれるものでもあったと思います。参観した生徒たちが、今後の研究に生かしていってほしいです。（1位の鳥栖商業高校と2位の富島高校は、11月の広島市での全国大会に出場）

☆1位：鳥栖商業高校「鳥栖商アプリ開発プロジェクト」で、プログラミングの知識を活かし、独自のスマートフォン用アプリケーションを作成するというものでした。「佐賀探語」「おじぎ道」など。新学習指導要領から扱うことになる「java」言語にも取り組むなど、時代にあった新しい形の研究で、今後のさらなる研究が期待されるものでした。

☆2位：富島高校「We love Japan “M” Project by Cause related marketing」

～地域経済の発展と復興に未来の商業人として寄与するために～

「地域貢献」をテーマに継続して取り組んで来ているもので、昨年度は口蹄疫からの復興、本年度は宮城県と連携して、大震災からの復興も含めて研究している。



宮崎商業高校生 600 人が参観



1位の鳥栖商業高校の発表



2位の富島高校の発表

## 8月30日(火)～9月5日(月)は、「防災週間」です。

○9月1日は「防災の日」です。本校では本年度は、その前日31日(水)に、**震災避難訓練**を実施することにしました。今年は、1月の新燃岳噴火、3月11日の東日本大震災、そして、大雨による災害など、激甚な自然災害が発生しており、改めて、避難訓練の重要性が指摘されています。そこで、「地震」と「津波」を想定した訓練を一度に行なうこととしました。大震災では、釜石東中学生が全員助かり、「釜石の奇跡」と呼ばれているようです。これは、これまでの避難訓練や日頃からの防災意識の高さが奇跡を起こしたようです。本校生もこれから、いついかなる場所で災害に遭うかもしれません。そのときに、自らの命を守るだけでなく、周りの人の命をも守れるように、避難訓練に真剣に取り組むとともに、日頃から、防災意識を心掛ける取組をしていきたいものです。

○この夏は、「なでしこジャパン」が女子ワールドカップで優勝したこともあって、サッカーの選手、監督の本を3冊読みました。佐々木監督の本の冒頭に、「佐々木則夫流 11 (イレブン) の心得」というのがありました。以下の11の項目は、足し算ではなく掛け算で、1項目でもゼロ（ゼロに近い値）があれば、その人に、指導者の資格はないとありました。11の項目を意識して指導しなさいという意味なのかなと思います。チェックしてみてください。

|      |      |       |             |              |        |
|------|------|-------|-------------|--------------|--------|
| 1 責任 | 2 情熱 | 3 誠実さ | 4 忍耐        | 5 論理的思考      | 6 適応能力 |
| 7 勇気 | 8 知識 | 9 謙虚さ | 10 パーソナリティー | 11 コミュニケーション |        |

☆就職試験が始まります。先日、あるTV番組で、名物社長さんが、面接のときに重視する項目を書いたメモを見ました。「情熱」「コミュニケーション」「協調性」「外国語能力」等でした。